

岸和田市【新しい地方経済・生活環境創生交付金】移動がスムーズなまちづくり推進事業

背景・目的

- 公共交通の維持において、近年の人口減少、高齢者の運転免許の返納、乗務員不足等の課題の深刻化
- 特に山手エリアにおいては課題が顕著であり、市民が住み続けたいまちの実現に向けた取組が必要



施策のねらい

- 地域拠点へつなぐことでの利用者の増加及び受容性向上
- 乗務員不足への対応(地域公共交通の維持)
- 移動がスムーズなまちづくりの実現
- レベル4の実装を見据えた自動運転の検証



施策概要

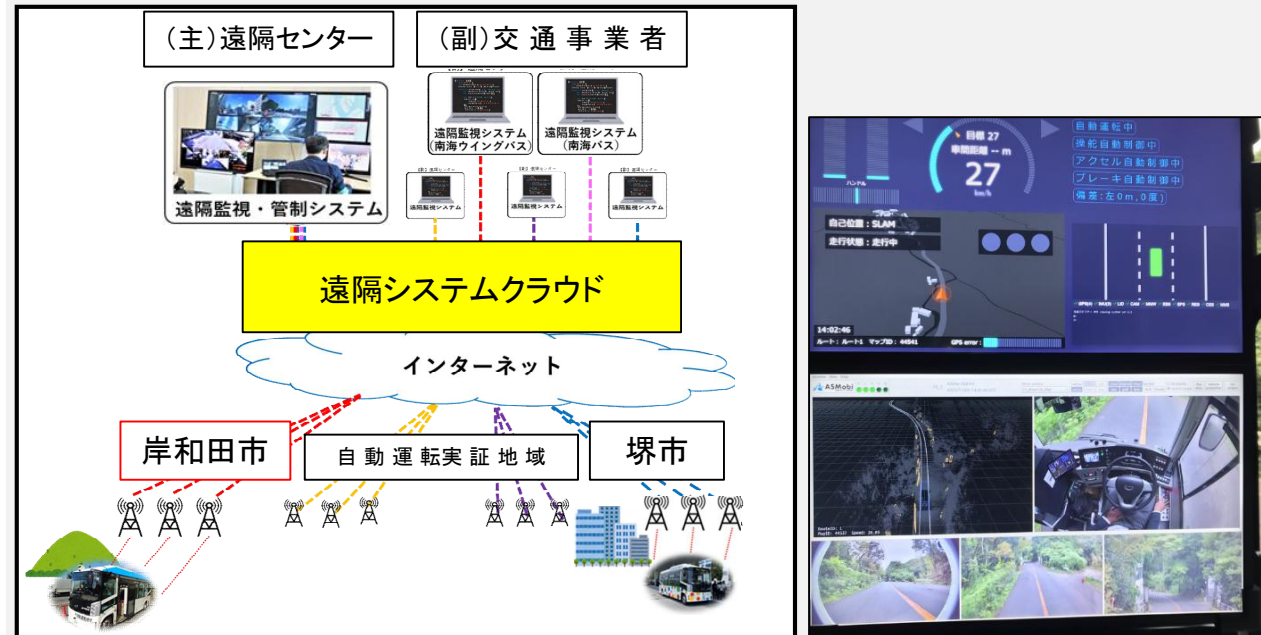
＜令和7年度の取組み＞

自動運転車両による実証運行(自動運転レベル2)

○山間地域における安定した走行性の検証

○実装を見据えた複数エリアでの遠隔監視(他市連携)

【遠隔監視イメージ】



【走行の様子】



＜令和8年度の取組計画＞

信号協調システム、路車協調システム等による実証実験を実施。

＜今後の方針＞

幅広い関係者とともに、技術的な課題等も踏まえた自動運転(レベル4)の実用化への取組を進めるとともに次世代モビリティ等の活用によりシームレスなまちづくりの実現を目指す。